

プロフェッショナル人材事業 について

(資 料)

- プロフェッショナル人材事業の進捗状況
- プロが企業を変える（パンフレット）
- マネージャー紹介シート
- シンポジウム及び全国協議会の模様

プロフェッショナル人材事業の進捗状況

1. プロフェッショナル人材戦略拠点

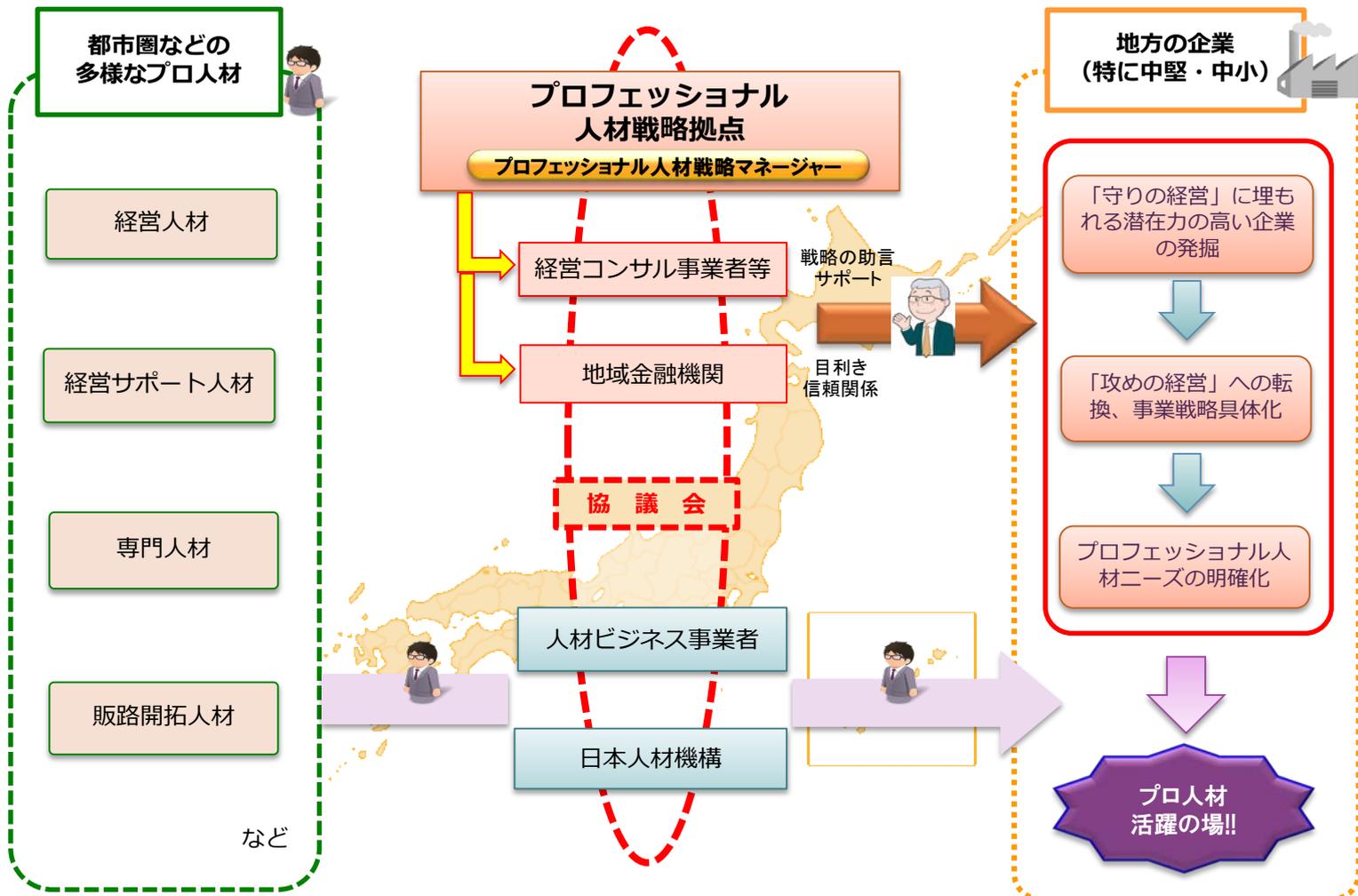
- 各道府県に設置するプロフェッショナル人材戦略拠点は、潜在成長力のある地域企業に対し、プロ人材の採用支援活動を開始。
- 具体的には、今年度内には東京都、沖縄県を除く全道府県で拠点の設置を予定。1月5日時点で36道府県で拠点が立ち上がり、事業をスタート。
- 第一回の全国協議会を12月9日に開催。全国の拠点及び関係機関が一堂に会し、今後の事業の方向性について、議論を実施。

2. 日本人材機構

- 地域企業や地域金融機関等との密接な対話等を通じ、地域企業等の生産性向上等の実現に向けた実行支援等ができる経営（サポート）人材のマッチング
- 当該人材に対し実践的なノウハウ等を提供する研修
- マッチング後の生産性向上等に向けたフォローアップ

3. プロ人材を送り出す企業へのアプローチ

- セカンドキャリア支援等自社のプロ人材の更なる活躍支援を検討している大手企業との連携強化を模索。
- シンポジウム等を通じ、大手企業の人事担当者等との関係を強化。



プロが 企業を変える。

あなたの企業の成長・発展を担う、
プロフェッショナル人材。



内閣府事業

プロフェッショナル人材事業

プロフェッショナル人材採用で 「攻めの経営」へ

「地方創生」の実現には、地域の中堅・中小企業が、潜在的な「力」を発揮していただき、個々の企業の成長を通じて、地域経済を盛り立てていくことが必要です。

このため、内閣府では、地域企業の経営者側の立場に立ち、新たな取組に積極的に挑む「攻めの経営」への転換と、新たな戦略の実現に不可欠となるプロフェッショナル人材の採用を支援するため、各道府県に「プロフェッショナル人材戦略拠点」を整備します。

プロフェッショナル人材戦略マネージャーをはじめとした拠点のスタッフは、地域の関係機関等と連携しつつ、地域企業の経営者の皆様との丁寧な対話を通じて、事業革新や新商品開発などのチャレンジングな取組の一助となるよう活動してまいります。

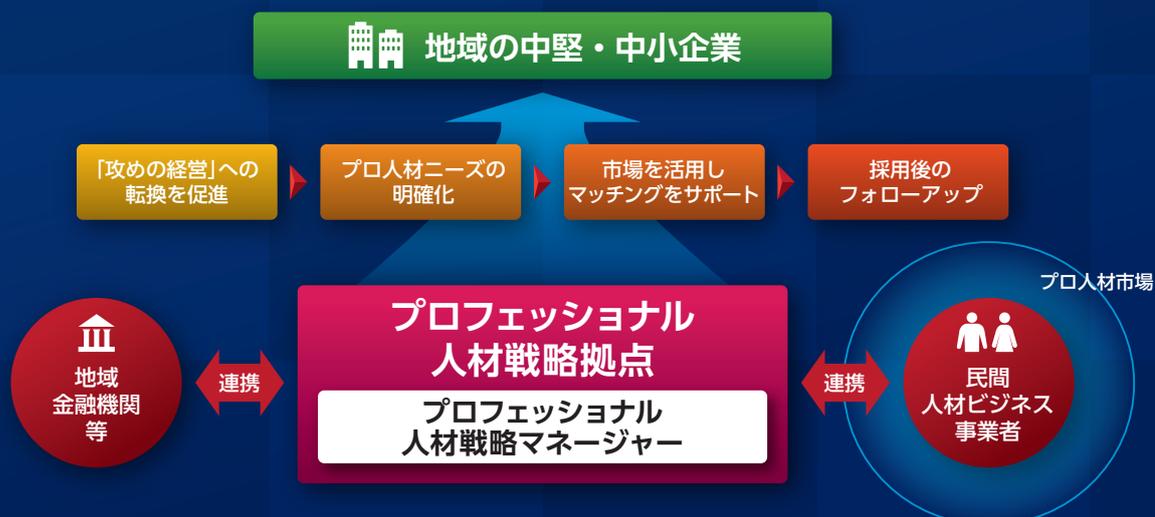
地域企業におかれましては、是非とも、本事業を積極的にご活用いただき、成長の実現に向けた第一歩を踏み出していただければと存じます。



地方創生担当大臣
石破 茂

「プロフェッショナル人材戦略拠点」が
地域の中堅・中小企業を支援します。

- Point 企業が持つ潜在成長力への目覚めを喚起し、「攻めの経営」への転換を促進
- Point 企業の成長戦略実現のために、プロフェッショナル人材のニーズを具体化し、決断を促進
- Point 各種関係機関等と連携し、プロフェッショナル人材のマッチングをサポート
- Point 採用後も経営者、プロフェッショナル人材双方に対してフォローアップを行い、プロフェッショナル人材が地域企業で活躍できるよう支援



FILE NUMBER 01	株式会社ハンズマン	宮崎県	採用したプロフェッショナル人材(A氏)
	会社情報 ● 従業員数 1,198名 ● 主な事業 DIYホームセンターの運営		● 年齢・性別 40代・男性 ● 採用時ポスト 人事部 次長 ● プロ人材タイプ 経営管理人材 ● 仕事内容 本部の中核機能体制強化 採用計画の立案・実行

プロ人材がプロ人材を呼ぶ！ 採用の好循環で「攻めの経営」へ加速する

プロ人材を採用したきっかけ

更なる店舗拡大に向けプロ人材の必要性を痛感

- 同社は20期連続増収と業績が好調な中、九州地方での更なる店舗拡大や、本州への進出も計画していた。
- そうした出店戦略の実現に向けて、本部の中核機能体制強化が必要不可欠となった。
- とくに総務、経理、人事、商品部など核となる部門で優秀なプロフェッショナル人材をいかに確保するかが喫緊の課題となっていた。

採用前

プロ人材採用により得られた効果

どんなプロ人材を採用？

- 半年で3名のプロ人材を採用。この3名はすべて他県からのU/Iターン採用である。
- そのうちの1名は、公認会計士の資格を持つ監査法人勤務者で、縁もゆかりもない宮崎に移住するなど、難易度の高い採用に成功している。
- 上記のプロ人材採用を成功させた人事部のA氏もまた、Iターンとして入社したプロ人材である。自動車系商社を経験後、同社に入社。他部署を経験したのち人事部次長に着任。

プロ人材の活躍状況

- A氏は採用を一手に担う人材として、全国を飛び回り採用活動を行っており、今や同社の組織づくりに欠かせない人物となっている。

採用後

VOICE 経営者の声

難易度の高いプロ人材の採用に成功したポイントは、人事の担当者が自ら候補者のもとに出向き、直接顔を合わせた点にあります。採用コストをかけてでも、直接会って話すからこそ自社の魅力が伝わったといえます。入社を決めたプロ人材は、人事の担当者と話さず、「自らのやりたいこと」が実現できる環境や業務内容であることを感じ、転職を決めているようです。

FILE NUMBER 02	大幸薬品株式会社	大阪府	採用したプロフェッショナル人材(B氏)
	会社情報 <ul style="list-style-type: none"> ● 従業員数 201名 ● 主な事業 一般医薬品の製造及び販売 		<ul style="list-style-type: none"> ● 年齢・性別 40歳代・男性 ● 採用時ポスト マネージャー ● プロ人材タイプ 新規製品開発人材／事業分野拡張人材 ● 仕事内容 中期経営計画の策定 新規事業の計画

新市場の創生で、従来の事業構造を大きく変革 プロ人材とともに空間除菌のワールドリーダーを目指す

プロ人材を採用したきっかけ

空間除菌の新市場構築のため「攻めの経営」へと舵をきる

- 同社は正露丸で有名な医薬品メーカーであるが、外部環境の変化に対応するためには事業構造の転換が求められていた。
- 事業構造を転換するには、これまで経験したことのない未知の領域に足を踏み入れる必要があるが、社内でそれをリードしていく人材がいなかった。

採用前

プロ人材採用により得られた効果

どんなプロ人材を採用？

- B氏の前職は仏系化学品メーカーの事業部長兼子会社取締役で、国家的プロジェクトのリーダーを務めた経験を持つ。

プロ人材の活躍状況

- 新たに家電分野への製品供給を実現。家電に組込める新製品「クレベリンLED」を用いた家電製品の発売による「二酸化塩素による空間除菌」の新市場の創生を家電メーカー各社とのアライアンスにより実行。
- 入社後わずか1年で大きな成果を生み、部長に抜擢。

採用後

VOICE 経営者の声

これまで我々は、対消費者に向けた製品の製造販売ビジネスが主流でしたが、ビジネスの更なる拡大を考えると「クレベリンLED」のように他企業への製品供給、しかも複数社に供給できる製品を開発することが重要な課題となっていました。採用したプロ人材(B氏)は、この新規事業計画を策定しプロジェクトをリードしていきました。その結果、当社から家電メーカーに向けた初めての供給品である「クレベリンLED」を組み込んだ製品が家電メーカーから発売され、今後も様々なメーカーから「クレベリンLED」搭載機器を市場に投入していく計画で、ビジネスの広がりを見せています。「二酸化塩素による空間除菌」世界市場での牽引役(ワールドリーダー)の地位を揺るがないものとする大きな成果です。

FILE NUMBER
03

オオアサ電子株式会社

広島県

採用したプロフェッショナル人材(C氏)

会社情報

- 従業員数 120名
- 主な事業 液晶パネル、各種制御装置、オーディオスピーカー製造等

- 年齢・性別 50歳代・男性
- 採用時ポスト 東京営業担当部長
- プロ人材タイプ 販路拡大を担う人材
- 仕事内容 新商品の広報・マーケティング・営業

逆境をチャンスに変えて！ 背水の陣で挑んだ「下請けからの脱却」と「攻めの経営」への転身

プロ人材を採用したきっかけ

採用前

逆境をチャンスに変えて「攻めの経営」へ挑戦

- もともと大手企業の下請け会社として液晶パネル等を製造してきた同社だが、リーマンショックや不況のあおりを受け、売上の8割を占めていた企業との取引がゼロになってしまった。それを契機として、自社製品の開発・製造に挑戦した。
- 下請け会社として約30年、世界標準の品質に応えつづけてきた甲斐があって、新商品である高級スピーカーの「Egretta(エグレッタ)」開発に成功する。しかし、当時同社には販促活動に秀でた人材がおらず、広報・マーケティング・営業を一手に引き受けられるプロ人材を探していた。

プロ人材採用により得られた効果

採用後

どんなプロ人材を採用？

- 幅広い人脈を持ち、販路開拓の方法を熟知する元大手メーカー勤務のC氏を採用。

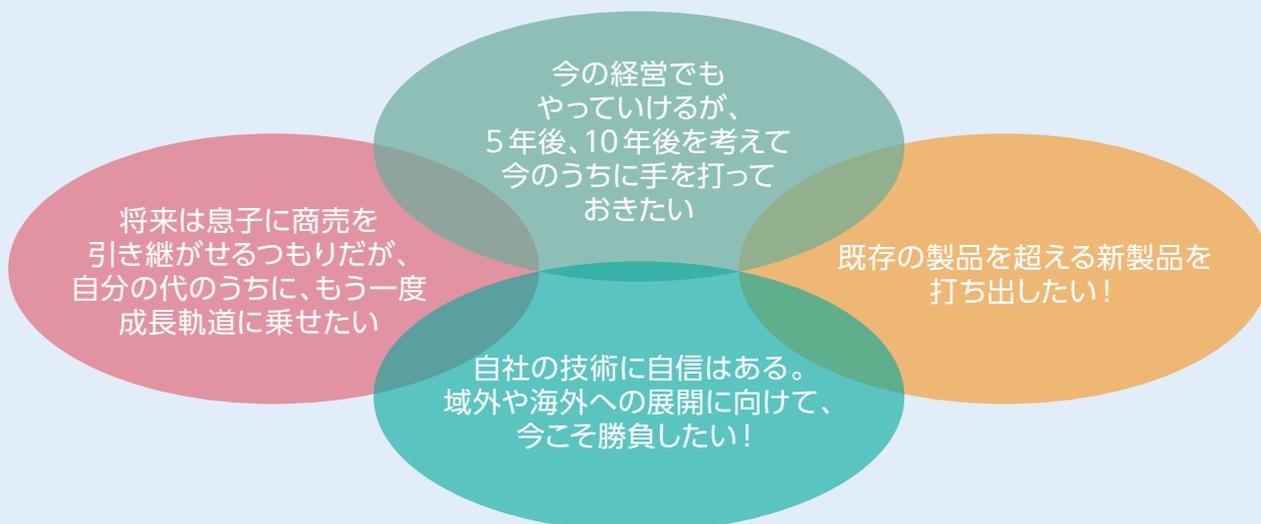
プロ人材の活躍状況

- 「Egretta(エグレッタ)」はグッドデザイン賞を受賞し、高価格でありながらも、広島のショールームに全国からお客様が来場するほど人気を集めている。本製品が全国のお客様の目に触れるまでに至ったのは、他にもなく、C氏の販促戦略の策定・実行及び地道な営業活動があったからである。
- 現在では、全国の大手量販店への導入が決まったり、東京タワー展望台のプロジェクションマッピングに同社の製品が採用されたりと、様々なビジネスチャンスが広がってきている。

VOICE
経営者の声

長年顧客からの信頼に生きてきた技術力があっても、採用したプロ人材の活躍がなければEgretta(エグレッタ)がここまで脚光を浴びることはなかったかもしれません。不況のあおりで一時は工場の操業を停止しなければなりませんでした。同時に200名いた従業員を路頭に迷わせるわけにはいきませんでした。「後には引けない」という強い気持ちで踏み切った下請けからの脱却と、新商品の開発でしたが、プロ人材(C氏)の営業手腕のおかげで、大きなビジネスチャンスにつなげることができました。

経営課題が解決できず、 「攻めの経営」への道を諦めていませんか？



まずは、あなたの地域の
プロフェッショナル人材戦略拠点にご相談ください。

課題解決に必要なプロフェッショナル人材ニーズを踏まえ、
マッチングをサポートします。

プロフェッショナル人材の活用を決めるのは**経営者自身**です。
プロフェッショナル人材を採用し、潜在的な力を呼び覚ますことで、
あなたの会社と地域の経済を次のステージへ!

お問い合わせは最寄りのプロフェッショナル人材戦略拠点まで

〈内容に関するお問い合わせ〉

みずほ情報総研(株)

社会政策コンサルティング部 担当：竹元、後藤、菅原

〒101-8443 東京都千代田区神田錦町2-3 竹橋スクエア8F

TEL：03-5281-5276 (月～金曜日、9時半～18時)

FAX：03-5281-5443

E-mail：pro-jinzai@mizuho-ir.co.jp



内閣府事業

プロフェッショナル人材事業

2015年12月18日 第二版

プロフェッショナル人材戦略
マネージャー紹介シート
(2016年1月5日現在)

【目次】

北海道	1
青森県	2
岩手県	3
宮城県	4
山形県	5
秋田県	6
栃木県	7
群馬県	8
埼玉県	9
千葉県	10
新潟県	11
石川県	12
山梨県	13
長野県	14
静岡県	15
愛知県	16
滋賀県	17
兵庫県	18
奈良県	19
和歌山県	20
岡山県	21
広島県	22
山口県	23
徳島県	24
香川県	25
愛媛県	26
高知県	27

マネージャー紹介シート

お名前	堀 敦志 (ほり あつし)		
担当拠点	北海道		
専門領域・強みなど	<ul style="list-style-type: none"> ・道内の主要企業に関する知識 ・営業面での押しの強さ 	<ul style="list-style-type: none"> ・1956年生まれ ・1979年 立命館大学経済学部を卒業後、北海道銀行に入行。本部、本店、月寒支店、南一条支店など、主に営業畑を中心にキャリアを積んでまいりました。 ・2009年7月 コクヨ北海道販売(株)に就任、同時に同年12月同社代表取締役兼取締役に就任、同時に銀行を退職 ・2013年12月 同社の親会社である日藤(株)取締役就任 ・2015年11月 日藤(株)退職 	
趣味・特技など	ゴルフ、音楽鑑賞		
好きな言葉	有言実行 誠心誠意		

マネージャー就任の経緯

▶ 北海道で生まれ育った人間として、いつかは地元北海道に直接的にお役に立てる事に就きたいと考えておりましたところ、マネージャーの募集を知りました。自分なりに熟慮の結果、10月に前の職場の退職を決意し、金融マンとしての30年、一般法人の役員としての約16年間の経験を活かせる職場として応募したところ、ご縁をいただくことになりました。

本事業に対する抱負

▶ 地方の衰退が顕著になっている北海道において、地方創生は何としても成し遂げねばならないテーマとなっております。本事業を通じて地域社会へ貢献したいと思っております。

マネージャー紹介シート

お名前	櫻田 良治 (さくらだ りょうじ)		
担当拠点	青森県		
専門領域・強みなど	<p>製造会社で生産管理、原価、事業計画、企画、総務人事を経験。 また、MTP(マニファクチャリング・プログラミング)ソフトウェアのため中堅社員の研修支援に対応。 県のものづくりや人材育成の戦略構築等に関する事業に参画。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・1954年生まれ ・1975年 オリオンバス精機(株)入社。その後、現青森県オリオンバス(株)へ転勤。生産管理、総務人事業務に40年従事 ・2007年 県のものづくりや人材育成の戦略構築等に関する事業に参画 ・2009年 ベトナムホーチミン赴任 医療事業部長として工場立上げを経験 ・2015年 ㈱サンライン 顧問 大手商社を対象とした紳士服の受注に係る、生産の効率等を支援 	
趣味・特技など	ゴルフ		
好きな言葉	不将不迎		

マネージャー就任の経緯

中堅の紳士服生産会社の顧問に就き、生産効率化を主とした業務に取り組んでいたところ、過去に青森県のものづくりや人材育成の戦略構築等に関わった経験を買われ、プロフェッショナル人材戦略マネージャーの要請をいただきました。もともと、県内製造業を主とした電子機器懇話会(現青森工業会に併合)事務局を5年程経験した経緯もあり、県内中小企業の生き残りに協力したいという思いもあつたことから、今回のお話しをお受けすることにしました。

本事業に対する抱負

青森県のみならず、全国的に中小企業の生き残りは非常に厳しいものがあります。特に事業継承は、全国的に60%以上が後継者不足という大きな問題を抱えています。そのため、拡大は望めないまでも、何とか現状維持を継続できないかと考えていました。企業の生き残りは、地域の活性化に即効として効果があります。雪国という自然条件は変えられませんが、プロフェッショナル人材戦略を通じて地元企業の新たな事業への取組により、自分達の技術力を蓄え、生活向上に向けて少しでも貢献できればと思います。

マネージャー紹介シート

お名前	<h3>齊藤 博之</h3> <p>(さいとう ひろゆき)</p>	
担当拠点	<h3>岩手県</h3>	
専門領域・強みなど	技術系(農業、食品、工業)、統計解析、放射線 ・1951年生まれ(昭和26)、64歳。 ・東北大学農学部(修士)卒業後、農業試験場、醸造食品試験場、工業技術センターで研究職、企画部長、プロジェクト研究監、副理事長。 ・県庁で補助金業務等。いわて産業振興センターで起業支援・ベンチャー支援の課長。 ・岩手県初で、県職員に在職しながら博士課程に進学し博士号取得(農学)、酒造。 ・所属の岩手県工業技術センターが全国初の独立行政法人化。一人あたり研究補助金獲得額(共同研究)を全国一位に。 ・現在:放射線測定・研究で(株)サイエンススタッフ顧問、(株)北日本銀行営業統括部顧問、農林水産省産学官連携事業CD、東経連BC事業化CD、県建設業協会経営革新AD、いわて産業振興センター専門家AD、盛岡商工会議所エキスパートAD専門家。他に放射線で県AD3件。経産省系事業審査業務。	略歴 岩手県郵便物、同絵葉書の収集、統計解析
趣味・特技など	人生無駄なし	
好きな言葉		

マネージャー就任の経緯

- 研究職で企業様廻りと技術支援、共同研究を経験。行政職で補助金業務、起業家大学、FS調査、インキュベーション、ベンチャー投資など経験。退職後は放射線被害対策に奮闘中。また銀行勤務では技術相談と企業様への陪同、公設試や大学への橋渡し、統計解析などで活動中。CDやAD業務もサイドで時々。性格的に新しいことや困難な課題の解決法を考えること、企業様の役に立つこと、人と話すことが好きなので、今回の打診をありがたくお受けしました。

本事業に対する抱負

- 最近、岩手県内市町村の将来予測人口のバターン解析をしました。消滅可能性自治体のみならず、都市部でさえも安穏としていません。その様な人口減少が進む中で企業様の成長は地域に必要な大きな力です。幸か不幸か私は経歴に一貫性が無く間口も出口も広いです。それを活用して多方向からの支援策を探りながら、その中でプロフェッショナル人材事業を進めたいと考えています。また、皆様のより良い手法を学習して実績に繋げたいと思います。宜しくお願いたします。

マネージャー紹介シート

お名前	<h3>加藤 新一郎</h3> <p>(かとう しんいちろう)</p>	
担当拠点	<h3>宮城県</h3>	
専門領域・強みなど	品質保証 人材教育、育成 事業所運営 ・1947年生まれ ・1965年、白石工業高校を卒業後、ソニー株式会社入社。記録メディア部門で開発、製造技術、製造、品質保証部門を経験する。 ・1989年MFD事業部次長 ・1991年MFD生産技術統括部長 ・1995年ソニーエレクトロニクスアメリカSVP(兼)ソニーSNLプレジデント(赴任) ・1999年ソニー(株)記録メディア事業部 オープン・ビデオ部統括部長(帰任) ・2000年同、蒸着メディア部統括部長 ・2002年同、応用磁器製品事業部長 ・2005年同、マイクロデバイス&S事業部長 ・2007年ソニー(株)退職後、エルナー(株)エルナーコンデンサー事業本部長 ・2008年エルナー役員定年で退職 ・2011年グループエナジー(株)特別顧問等	略歴 ゴルフ
趣味・特技など	物事は細部で決まる	
好きな言葉		

マネージャー就任の経緯

- 知人より、プロフェッショナル人材戦略事業の話聞いた時、今までの知識や経験が、地域貢献に生かせるのではないかと思いました。また、これから海外進出を計画されている中小企業の皆さんに、海外での経験をお伝えしたいと考え、お引き受けすることに致しました。

本事業に対する抱負

- 「経営は現場」と考えています。取り組みは、オーナー経営者とひざ詰めでお話しすることが一番大事なことです。話し合いの中から、その企業の得意分野を抽出し、創生のための挑戦に立ち会いたいと考えております。

マネージャー紹介シート

お名前	吉田 勉 (よしだ つとむ)		
担当拠点	山形県		
専門領域・強みなど	<ul style="list-style-type: none"> 銀行時代は融資畑で企業再生・事業再生 銀行、リース、保険代理店・不動産事業を通して得たネットワーク 	<ul style="list-style-type: none"> 1950年生まれ 1974年 中央大学法学部卒業後、山形銀行に入行 2003年 ㈱ヤマコー(不動産賃貸業、子会社にバス会社等)に転向(常務取締役) 2006年 山形銀行取締役融資部長 2008年 同 常務取締役 2011年 山銀リース㈱取締役社長 2014年 両羽協和㈱取締役社長(現任) 	
趣味・特技など	略歴		
好きな言葉	<ul style="list-style-type: none"> 楽器演奏(ギター) 作曲 	<ul style="list-style-type: none"> 一隅を照らす 立場の交換 	

マネージャー就任の経緯

- 山形県は全国平均を上回るスピードで少子高齢化が進んでいます。地方創生において、「企業ニーズの把握」「攻めの経営」そして「ヒト・人財」の問題は重要です。「山形から元気」をモットーに、魅力ある県にして、地域価値を上げることにも少しでもお役に立ちたいと思います。

本事業に対する抱負

- 山形県は100年超の長寿企業輩出率が京都に次いで2位であり、伝統ある「モノづくり県」と捉えております。
- また、企業存続が大命題であり、不易流行の考え方、すなわち「変えてはならないもの」「変えるべきもの」を見据えて対応していきます。
- さらに、当拠点として県・企業振興公社との連携、そして金融機関・商工会議所等産業支援機関と連携し「オール山形」で取り組んで参りたいと思います。

マネージャー紹介シート

お名前	吉崎 和夫 (よしざき かずお)		
担当拠点	秋田県		
専門領域・強みなど	<ul style="list-style-type: none"> 大企業での戦略製品開発P1リーダー、中小企業経営者、本県の中堅企業の顧問などの経験とよそ者の視点で県内企業の経営全般の課題に対応 	<ul style="list-style-type: none"> 1952年生まれ 1971年 (株)日立製作所 半導体事業部 半導体メモリIC設計業務に約30年従事 2004年 (株)ルネサス テクノロジー メモリ事業部 副事業部長 戦略製品P1リーダー等経験 2009年 (株)アキタ電子システムズ 取締役社長 中小企業経営及び地元工業会活動 2013年 秋田精工株式会社 顧問 行政・大学などと連携し企業活性化 	
趣味・特技など	略歴		
好きな言葉	読書、海釣り	人間万事塞翁が馬	

マネージャー就任の経緯

- 私は秋田県内企業を退職後、自宅のある東京に戻らずに秋田市で「県内企業の活性化をサポート」を事業目的に起業しました。プロフェッショナル人材事業は、私の起業の目的と同じであり、更に行政のサポートの下、3名のチームで活動することで、大きな成果が期待出来ると思ひ、手を上げました。
- 起業後は行政、大学、公設試などと連携して、県内中堅企業の新事業拡大を推進していますが、人材不足を痛感していました。地方創生は「ひと」と「地方企業」を結び付けることで、はじめて達成できると思っております。

本事業に対する抱負

- 少子高齢化が進む秋田県ですが、地域に根付く企業にはチャレンジしている経営者が多く、本事業を通して、少し背中を押すことで更に活性化する企業は多いと信じています。一方、マッチングの難しさも感じており、本事業の肝は経営者の思いと課題を正しく見える化する、人材戦略拠点の活動にあると思ひます。

マネージャー紹介シート

お名前	森 和男 (もり かずお)	
担当拠点	栃木県	
専門領域・強みなど	高度情報処理技術を用いた生産システムのインテリジェント化、ものづくり技能の分析技術、企業の知的資産分析・評価による企業の競争力強化支援	<ul style="list-style-type: none"> ・1980年 東北大学大学院工学研究科博士課程修了後、通産省工業技術院機械技術研究所(現、産業技術総合研究所)に入所。生産システムのインテリジェント化などものづくりの高度化研究に取り組む ・2001年 中小企業庁委託のデジタルマイルストーンプロジェクトで本格的に中小企業の競争力強化に取り組む ・ものづくり先端技術研究センター長を務めた後、2005年より栃木県産業技術センター一所长として、地域中小企業の育成に努める ・現在、ものづくり中小企業を中心として、競争力強化を目的に、つくばや郡内企業を対象に知的資産経営の導入を支援
趣味・特技など	近所の農家から借り受けた70坪もの畑で野菜作り。ものづくりと相通じることを実感中	略 歴
好きな言葉	Take time by the forelock(チャンスは前髪でつかめ)	

マネージャー就任の経緯

- ▶ もともと研究者で、技術開発プロジェクトの成果普及等を通じてこの約15年ほど全国のものづくり企業を中心に働き合わせていただきました。この経験から、ものづくり企業が地域創生の要の一つではあるが厳しい競争にさらされていること、その競争力強化には先端技術だけでなく、優れた経営との一気通貫が必要なることを痛感し、知的資産に基づいた経営力強化の支援を行ってきました。
- ▶ 本事業が目的とする攻めの経営の強化と支援は、知的資産経営支援と相通じるところがあり、企業競争力強化を通じてさらに地域のお役に立てることを願って就任しました。

本事業に対する抱負

- ▶ まずは地域創生の要であり自身の土地勤のあるものづくり中小企業からスタートし、次第に他業種分野へと拡張していきたいと思っています。
- ▶ 事業終了後も拠点での活動が継続して引き継がれることを意識し、本事業の意図する趣旨での地域創生が長期的に継続されるよう事業を進めていきたいと考えています。

マネージャー紹介シート

お名前	天田 清之助 (あまだ せいすけ)	
担当拠点	群馬県	
専門領域・強みなど	入社時より、原価計算・原価管理で力を発揮。現在は、社内外で各種改善活動で活躍。群馬日仏協会と群馬県の共催で群馬フランス祭を実施	<ul style="list-style-type: none"> ・昭和14年 生まれ ・昭和39年 早稲田大学大学院商学研究科修了 ・昭和39年 三共電器株式会社入社(現・サンデンホールディングス株式会社) ・平成7年 同社 常務取締役 ・平成9年 同社 専務取締役 ・平成13年 同社 代表取締役副会長 ・平成19年 同社 特別顧問 ・平成22年 群馬県経営者協会 副会長 ・平成25年 群馬県教育委員会教育委員
趣味・特技など	ゴルフ歴は60年、年間25回以上プレー スキーは県内で活動。年間25回が目標 楽しいゴルフ・スキーがモチベーション	略 歴
好きな言葉	感謝	

マネージャー就任の経緯

- ▶ 群馬県内の中小企業等で良い製品等を持ちながら、販路開拓等への取組不足から実力ほど成長していない企業があると感じていました。
- ▶ 県内の中小企業等の「攻めの経営」を支援する拠点を作るにあたり、拠点の代表を打診され、成長が期待され、大きく羽ばたく企業が増えることで、県内経済の活性化に協力できることから、マネージャー就任を承りました。

本事業に対する抱負

- ▶ 本県は、自動車関連産業など、ものづくり産業が盛んな土地柄でありますが、今後成長を目指す中小企業等が大きく羽ばたけるよう支援します。また、本県発の全国的なサービス業も近年増えてきており、サービス業においても今後成長を目指す中小企業等を支援してまいります。

マネージャー紹介シート

お名前	北風 良雄 (きたかぜ よしお)		
担当拠点	埼玉県		
専門領域・強みなど	人事関係の幅広い経験、知識。会社合併、外資系会社への移行等様々な変革に対応。労働委員、労働審判員として多くの労働問題の解決処理経験	略歴	<ul style="list-style-type: none"> ・1948年生まれ ・1971年 大学卒業後、ボッシュ株式会社(旧子一ゼ ル機器)に入社、人事部門に長く勤務 ・2004年 同社執行役員人事部門長 ・2009年 退職し埼玉県労働委員会労働委員、埼玉県立学校評価委員、労働審判員等を経験
趣味・特技など	囲碁、ゴルフ、ハイキング	略歴	
好きな言葉	逆命利君	略歴	

マネージャー就任の経緯

- ▶ 私の生まれは山口県ですが、大学卒業以来45年間ずっと埼玉県で過ごしてきました。私は人事畑が長く、その間、外資系への移行等様々な変化がありましたが、いつも社員の幸せがあって会社の発展がある」との思いで仕事をしてきました。
- ▶ 企業発展のキーは、人材だと思います。
- ▶ 今回、この事業のお話をいただき、これまでの経験を生かして社会に貢献できると思い、申込をさせていただきました。

本事業に対する抱負

- ▶ 埼玉県は、ものづくりの中小・中堅企業が多くあり、埼玉県の経済力強化のためには、これらの企業の発展が欠かせません。今回の事業は、県内の中小企業がさらに発展するための強力な支援策になると思います。
- ▶ 微力ではありますが、埼玉県の中小企業がさらに発展できますよう人材面でのサポートをさせていただきますと思います。

マネージャー紹介シート

お名前	西川 徹 (にしかわ とおる)		
担当拠点	千葉県		
専門領域・強みなど	千葉県内の産業に関する知識 ・営業面でのコミュニケーション能力	略歴	<ul style="list-style-type: none"> ・1952年生まれ ・1975年明治学院大学卒業後、㈱千葉銀行に入行、以後、ほぼ一貫して営業畑を歩む ・1991年千葉銀行南流山支店長 ・1994年 " 篠崎支店長 ・1995年 " 鎌ヶ谷支店長 ・1997年 " 秋葉原支店長 ・2001年 " 個人部長 ・2003年 " 執行役員営業統括部長 ・2004年 " 執行役員船橋支店長 ・2006年 " 退任 ・2006年ちばぎんジェーシーピーカード㈱取締役社長 ・2009年新業地所㈱取締役社長 ・2012年ちば債権回収㈱取締役社長 ・2015年ちばぎん保証㈱取締役相談役
趣味・特技など	ゴルフ ウォーキング	略歴	
好きな言葉	知恩報恩	略歴	

マネージャー就任の経緯

- ▶ 千葉銀行に勤務していた頃から、将来、地域の発展や地域の産業を担う中小企業の成長のため何か貢献してみたいとの思いがありました。
- ▶ 今回、このプロフェッショナル人材事業の話を伺いし、地域発展のお役に立てると思い、お引き受けすることに致しました。

本事業に対する抱負

- ▶ プロフェッショナル人材事業を通じて、長年にわたる銀行での経験を活かし、千葉県内の企業の成長の為に貢献したい。
- ▶ 本県は、農業・漁業・商業・工業にバランスのとれたポテンシャルの高い県でありますが、更に発展し、活性化する為、精一杯頑張りたいと思います。

マネージャー紹介シート

お名前	杉山 順爾 (すぎやま じゅんじ)		
担当拠点	新潟県		
専門領域・ 強みなど	関連機関とのネットワークによる多角的な支援を行います	昭和27年生まれ	
趣味・特技など	スポーツクラブで汗を流すこと	昭和50年 中央大学 法学部卒業 昭和50年 新潟県入庁 平成18年 総務管理副部長 平成20年 東京事務所長 平成22年 知事政策局長 平成25年 退職 平成25年 (公財)にいがた産業創造機構 副理事長	
好きな言葉	現場主義		

マネージャー就任の経緯

- ▶ 新潟県新潟市出身。
- ▶ 新潟県職員として38年間県行政に、退職後は（公財）にいがた産業創造機構副理事長として2年余り県内産業支援に携わってきた経験をプロフェッショナル人材戦略拠点事業で活かすことになりました。

本事業に対する抱負

- ▶ 地元新潟県の企業ため、（公財）にいがた産業創造機構での産業支援活動の経験や新潟県での行政経験を活かして、がんばります。

マネージャー紹介シート

お名前	村 弘行 (むら ひろゆき)		
担当拠点	石川県		
専門領域・ 強みなど	生産技術、品質管理、クレーム対応、顧客管理、特に特殊自動車設計を永年担当	昭和27年生まれ	
趣味・特技など	釣り、ウォーキング(町歩き)	昭和50年 富山大学工学部を卒業後、津田駒工業株式会社へ入社。検査部門を皮切りに生産技術、製造部門、設計部門をあゆみ、モノづくりの基礎から応用まで一貫して経験。 ・2001年 同社執行役員(工作機器部門管掌) ・2004年 同社取締役(工作機器部門管掌) ・2006年 同社常務取締役(工作機器部門管掌) ・2012年 同社顧問 ・2014年 石川県産業創出支援機構 戦路産業雇用創出プロジェクト統括コーディネーターへ(現在に至る)	
好きな言葉	運鈍根		

マネージャー就任の経緯

- ▶ 前職の時に、石川県の鉄工機電協会の事業推進に参画させていただきました。その縁もあり、地元中小企業の後押し、指導をしている、石川県産業創出支援機構へ転出し、現在の仕事「企業中核人材の雇用推進」を通じて県内の経済情勢、産業構造を改めて再認識いたしました。石川県の中小企業の置かれている厳しい経営環境を打開し成長を進めていくのは、「ひと」であると。
- ▶ この「ひと」にかかわるプロフェッショナル人材事業のお話しをお伺いし、是非にと申込みさせていただきました。

本事業に対する抱負

- ▶ 今年3月に金沢まで新幹線が開通し、金沢の町は大変に変わっています。加賀百万石の土地柄が、伝統工芸が盛んであるとともに、ニッチトップ企業が多いのも一つの特色です。今回、大役を担わせていただきますが、これまでの企業でのマネージメント経験を活かしながら、さらに地元業界に深く溶け込み、石川県下の企業成長のため、最大限の努力を尽くしたいと思います。

マネージャー紹介シート

	
お名前	廣瀬 典仁 (ひろせ のりひと)
担当拠点	山梨県
専門領域・強みなど	<ul style="list-style-type: none"> 経営戦略策定 マーケティング/営業力強化 マネジメント/組織力強化 環境ビジネス
趣味・特技など	<ul style="list-style-type: none"> 温泉巡り 写真撮影(富士山) 家庭菜園 ラグビー・サッカー(VF甲府)観戦
好きな言葉	<ul style="list-style-type: none"> 3MIND (OPEN・TOUGH・TENDER MIND) 鬼手仏心
<p>1952年：山梨県生まれ</p> <p>1976年： 早稲田大学商学部卒業後、富士ゼロックス株式会社入社。営業・マネージャーを13年間経験後、本社にて12年間商品企画・マーケティング・販売教育マネージャーを務める。</p> <p>2001年： 25年間の富士ゼロックス(株)退社後、約2年間経営コンサルティングファームに勤める。</p> <p>2002年～： 経営コンサルティング会社退社後、エコ・ワークス研究所(地域中小企業の顧客価値創造経営)を起業し、現在に至る。</p>	
略 歴	

マネージャー就任の経緯

- 山梨に15年前リターンし、前職の大企業を退職した後、経済と環境及び社会との共生経営を目指すコンサルの道を歩んで来ました。8年前からは主として国の地域中小企業の応援事業に携わり、最近数年間は経営革新や販売促進・販路開拓のご支援をさせて頂いております。
- このようなご支援の中で、常々人材の重要性を感じておりました。今回の事業を知り微力なりとも知見を活かして、地域の活性化に貢献できればと申し込みました。

本事業に対する抱負

- 都心の隣県でありながら、山梨には豊かな自然と素朴な人間性が残されており、まだまだ生活の質が高く本来の魅力のPR不足な面が多々ありますが、県外のプロフェッショナル人材の方々のお力もお借りして、山梨から魅力ある優れた多くの企業を創造していくよう「チーム山梨」一丸となって成果を出していきたいと思っております。
- 「人は石垣、人は城、人は堀、人は組」人や組織を大事にした名将武田信玄の遺訓を持ち、13年後のリニア新幹線の未来への夢を抱き、地域の発展に貢献していきたい。

マネージャー紹介シート

	
お名前	三浦 義正 (みうら よしまさ)
担当拠点	長野県
専門領域・強みなど	<ul style="list-style-type: none"> 研究開発マネジメント 及び産学官・社会連携業務ですが、磁気記録技術のエンジニアでもあります。
趣味・特技など	<ul style="list-style-type: none"> 歴史などの読書ですが、ゴルフを始めたいと思っております。
好きな言葉	「愚直に」がモットーです。
<p>1944年生まれ</p> <p>1973年 東北大学大学院工学研究科博士課程を終了後、株式会社富士通研究所に入社。磁気記録技術、情報ストレージ機器技術の研究開発に従事。1999年富士通株式会社のストレージプロダクツ事業本部技師長。</p> <p>2003年 信州大学工学部教授</p> <p>2005年 信州大学地域共同研究センター長として、教員と企業間の共同研究推進に取り組む。</p> <p>2009年 信州大学理事・副学長として、研究と産学官の連携、および地域連携業務を担当し、大学の研究力強化と地域産業の振興に取り組む。</p>	
略 歴	

マネージャー就任の経緯

- 大学院終了後、30年間神奈川県の企業において一貫して研究開発に従事してきました。様々な国内プロにも従事しましたが産学官連携による人材育成の重要性を痛感し、産学連携コンソーシアムを立ち上げ10年ほどの運営も行ってきました。
- 信州大学教授として長野県に参りましたが、地域共同研究センター長として5年間、大学理事・副学長として6年間産学官連携と地域連携を活性化する業務に従事したことによって、長野県及び各市町村関係者、並びに県内の多くの中小企業経営者と知遇を得ました。この11年間の経験を活かして参りたいと思っております。

本事業に対する抱負

- シルク産業から超精密加工技術や電子機器産業へと時代の変革を乗り越えてきた信州地域です。しかしオプティシア展開による空洞化の影響を乗り越えることに苦労していますが、元々進取の精神に富む地域ですので、経営者の方々、金融界の方々を協力しながら長野県下の産業振興に貢献したいと思っております。

マネージャー紹介シート

お名前	中嶋 壽志 (なかじま ひさし)		
担当拠点	静岡県		
専門領域・強みなど	地方シンクタンクで30年以上 静岡県をフィールドに地域経済の調査・研究を行ってきた。 ・1952年生まれ ・1976年 早稲田大学商学部を卒業後、静岡銀行に入行	静岡経済研究所 研究部副部長 ・1993年同研究所 研究部副部長 ・1996年同研究所 研究部副部長 ・2005年同研究所 理事 ・2007年同研究所 常務理事 ・2010年同研究所 専務理事 ・2014年同研究所 顧問・シニアエコノミスト就任	略歴
趣味・特技など	写真撮影		
好きな言葉	着眼大局着手小局		

マネージャー就任の経緯

所属していた静岡経済研究所の母体である銀行のトップより就任の打診があった。これまで静岡県雇用対策審議会の会長をするなど行政とも関係が深く、本業務が地域に貢献する仕事でもあることから、引き受けさせていただくことになった。

本事業に対する抱負

静岡県はモノづくり県として経済発展してきたが、リーマンショック以降の製造業の構造変化の影響をより先鋭的に受けており、その結果として人口の社会減が北海道に次いで多くなってしまっている。静岡県経済の復興には、製造業の再生、新産業の育成など新たな雇用機会の創出が不可欠であり、プロ人材を地方企業に還流させることで、地域企業の新展開、チャレンジ、イノベーションの一助となるべく、本業務に取り組むたい。

マネージャー紹介シート

お名前	加藤明彦 (かとう あきひこ)		
担当拠点	愛知県		
専門領域・強みなど	27年に亘る社長経験を生かす ・1947年生まれ ・1969年 大阪工業大学工学部工業経営学科を卒業後、加藤精機有限会社(現エイベックス株式会社)に入社。創業者の二代目として経営の修行に励む。 ・1984年～2010年 代表取締役社長 ・2010年～現在 代表取締役会長 ・2011年～現在 愛知中小企業家同友会 代表理事。中小企業の発展と地域の活性化に取り組む。	略歴	
趣味・特技など	家庭菜園		
好きな言葉	人生の行路に あまた道しるべ われ迷いなく 今日も旅せん		

マネージャー就任の経緯

現在の公職の、経済産業省「東海競争力協議会作業部会委員」・「中部地域新成長産業アドバイザリーボード委員」・「自動車関連連産室ものづくり戦略会議」、財務省「金融行政アドバイザリー委員」、愛知県「産業人材育成連携会議委員」・「次期産業労働計画策定委員会」、名古屋市「次期産業振興計画策定検討会議」・「特別報酬等審議会」等を通し、このプロフェッショナル人材事業の話を伺いました。中小企業の発展に少しでも寄与できればと思い、受けさせていただきました。

本事業に対する抱負

社会に出て約20年間、「人」の問題に苦しみ、企業をつまぐ運営することができませんでした。「人は城とわかっていながらも真の「人間尊重経営」ができませんでした。その後「社員の幸せを追求すれば、必ず会社は発展する」と信じて、経営に携わった経験から、「社員の成長が、会社発展のカギ」と確信しており、その経験を生かし、地域の中小企業の発展に少しでも貢献できればと考えております。

マネージャー紹介シート

お名前	黒川 幹生 (くろかわ みきお)		
担当拠点	滋賀県		
専門領域・強みなど	企業審査、案件審査	<ul style="list-style-type: none"> ・昭和28年(1953年)生まれ ・昭和52年 株式会社滋賀銀行に入行 30年間に現業店10店舗経験 ・平成10年 同社綾野支店長 ・平成12年 同社牧野支店長 ・平成15年 同社審査部 審査役 ・平成19年2月 滋賀銀行退職 ・平成19年4月 日本郵政公社 大津神領郵便局長就任 ・平成21年2月 滋賀県西部郵便局長 就任 ・平成25年3月 日本郵便株式会社 大津神領郵便局長退職 	
趣味・特技など	スポーツ(ゴルフ、スキー、野球)	略 歴	
好きな言葉	<ul style="list-style-type: none"> ・寒ほど頭を垂れる稲穂かな ・すべてに全力で 		

マネージャー就任の経緯

- ▶ 地元金融機関(滋賀銀行)で30年間勤務した現業店舗10店舗、および本部(審査部)での経験による企業の見極めと案件診断・審査のノウハウ習得。加えて異業種間の交流のパイプ役の経験などを存分に活かせることや、郵便局長として勤務した6年間の経験と、それらの双方で培った人脈を十分に活用しながら、本事業に貢献したいと考え応募いたしました。

本事業に対する抱負

- ▶ 日本の国土のほぼ中ほど、近江商人発祥の地滋賀県。先人の大きな功績は全国各地に残されています。今回、大変大きな役割を担わせていただくことになり、身の引き締まる思いです。民間企業でのビジネス経験と郵便局長経験を活かしながら「人」に「企業」のマッチング、企業双方のマッチングを図り、滋賀県の企業成長と地域発展に、微力ながら貢献したいと思っております。

戦略マネージャー紹介シート

お名前	亀井 芳郎 (かめい よしろう)		
担当拠点	兵庫県		
専門領域・強みなど	専門領域 戦略策定・経営管理・マーケティング・新業態開発 強み 中小企業の社長として、新規事業による第二創業を行ない、株式上場を果たした経験。	1976年 同志社大学卒業後、服飾品の輸入商社・三喜商事(株)で海外ブランドの展開を通して、ブランド開発、育成に取組み、営業部長を経て、経営企画室長、企画開発部長を歴任。 1999年 (株)オンリーに入社、紳士服業界の先駆けとなったツープライスストア The@SuperSuitsStoreの立上げ、多店舗化を行い、第二創業を実現。 2002年 低迷期に社長を引き継ぎ、事業再生に取り組み、V字回復を果たす。 2005年 目標であったIPO(大阪証券取引所へラクレス)を実現する。 2006年 社長を退任し、コンサルタントとして独立。	
趣味・特技など	趣味は、読書、スポーツ。 現在、兵庫県立大学でMBAの客員教授しながら経営学の博士課程で中小企業経営の研究中。	略 歴	
好きな言葉			

戦略マネージャー就任の経緯

- ▶ 中小企業診断士として、兵庫県の支援機関を中心に中小企業の経営支援活動をする中で、一つの課題を感じていました。それは、戦略策定、経営革新計画策定、問題解決等の支援の後の実行に問題があり、それは企業内に人材がいなかったに原因があるのではないかです。
そんな中、このプロフェッショナル人材事業の話を伺い、是非にと申込させて頂きました。

本事業に対する抱負

- ▶ 中小企業の経営者としての実績と経験、兵庫県の支援機関における中小企業支援の経験、そして中小企業診断士、MBAの理論と知識を活かして、兵庫県の企業成長に貢献したいという、強い思いを持っています。

マネージャー紹介シート

お名前	中崎 宏平 (なかざき こうへい)		
担当拠点	奈良県		
専門領域・ 強みなど	事業経営力向上 財務体質強化 中長期事業計画策定 物づくり力強化 ISO(環境・品質・情報) 人材育成	事業経歴 ・1952年 福岡県生まれ ・1970年 山口県下関工業高等学校 電子科を卒業後松下電器産業株式会社に入社 (現パナソニック株式会社)オーディオ・電子楽器・メディアの事業を通して技術・物づくり・新規事業に取組む ・1999年 蒸着DVD-R開発プロジェクトリーダー 世界初蒸着方式DVD-Rの開発量産化に成功 ・2001年 DVD-ROMカテゴリーオーナー DVD(映画・ゲーム・ROMディスク)のソフト製造販売事業を担当 ・2004年 パナソニックAVCディスプレイデバイス株式会社 社長(奈良県内) メディア事業を推進(ハリウッドの 映画会社やゲーム会社と契約)LDVD/BDソフト製造販売事業を展開 奈良工業会 理事(現奈良経済産業協会) ・2011年 パナソニック㈱、パナソニックAVCディスプレイデバイス㈱を定年退職 ・2015年 奈良県 就労あっせん・起業支援センター 就労コーディネーター	
趣味・特技など	音楽(演奏・鑑賞) スポーツ (ゴルフ・ジム・鑑賞)	略歴	
好きな言葉	素直な心 青春は心の若さである！		

マネージャー就任の経緯

- ▶ パナソニックを退職後、人材育成や地域社会との繋がりで貢献できる役割を模索していましたが、8月から奈良県就労あっせん・起業支援センターのコーディネーターの仕事に恵まれ活動していましたが、今回のプロフェッショナル人材戦略マネージャーの募集を知りました。地方創生の一環として奈良県内の中小企業の経営を元気にする好機にあり、是非とも役に立ちたいと願って応募しました。

本事業に対する抱負

- ▶ 現役時代奈良県内でお世話になった恩返しの、松下幸之助氏やパナソニック株式会社経営から学んだ経営理念や手法そしてノウハウを活用し、中小企業経営のお役に立ち成長発展を目指したいと考えています。
- ▶ 奈良県に存在する沢山の中小企業の経営力を高める為、人を活かすプロフェッショナル人材戦略事業の活動を通して地方創生を実現する様に全力で取り組みます。

マネージャー紹介シート

お名前	植田 俊 (うえだ たかし)		
担当拠点	和歌山県		
専門領域・ 強みなど	経営企画の策定及び 人事計画の立案	略歴	・1947年生まれ ・1971年 和歌山大学経済学部経営学科卒業後、丸紅(株)に入社。海外の資源開発に携わり、米国に6.5年、豪州に6年駐在。 ・2000年 丸紅豪州会社副社長 ・2003年 パース日本人商工会議所会頭 ・2004年 丸紅(株)金属資源開発部長 ・2009年 丸紅テツゲン(株)監査役 (独)中小企業基盤整備機構シニアマネージャー
趣味・特技など	ウォーキング、旅行		
好きな言葉	人間万事塞翁が馬		

マネージャー就任の経緯

- ▶ 社会生活の原点となった大学4年間を和歌山大学で過ごし、卒業後、和歌山を離れ、東京、米国、豪州での会社人生が続き、いざれチャンスがあれば、和歌山県のために微力を尽くしたいという思いが年々強まり、今回応募の大きな動機づけとなりました。
- ▶ 中小機構で中小企業の方々への経営支援をはじめ現場で苦労を共にするという貴重な経験、知見を今回の事業で活かすことができればと願っております。

本事業に対する抱負

- ▶ 中小企業の方々の目線に立って複眼的な視点でアドバイスを行うのみではなく、ゴールに向かって、目標管理を共有してゆきたいと考えています。

マネージャー紹介シート

お名前	青井 賢平 (あおい けんぺい)		
担当拠点	岡山県		
専門領域・強みなど	<ul style="list-style-type: none"> ・経営戦略全般、なかでも新分野進出、販路開拓、産学連携の支援 ・1944年岡山県生まれ ・1967年 名古屋工業大学金属工学科卒業 ・1967年 日本冶金工業(株)入社 ・1969年 岡山県入庁(工業技術センター、中小企業総合指導センター工業振興課、産業企画課等) ・2003年 岡山県商工部長 ・2004年 (株)倉敷フアッションセンター代表取締役社長(非常勤、～2009年) ・2005年 (公財)岡山県産業振興財団理事長(～2009年) ・2008年 (株)トマト銀行監査役(非常勤、～2015年) ・2009年 (学)実学学園相談役(非常勤、～2012年) ・2011年 国立大学法人岡山大学監事(非常勤、在任中) ・2012年 (独)中小企業基盤整備機構中国本部チーフアドバイザー(非常勤、在任中) 		
趣味・特技など	略歴		
好きな言葉	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭菜園(約2反、野菜、花、果物など春夏秋冬、畑の土が最良の友です。) ・退路を断つ ・がんばれば中小企業 		

マネージャー就任の経緯

満70歳を超え、大きな人生の区切りを迎えようとした折、古巣の岡山県から、マネージャーのお話があり、喜んでお受けしました。

本事業に対する抱負

岡山県に生れ約50年間、県内中小企業の活性化のため「中小企業カンパレ」をイノベーションとしてきました。この中で多数の中小企業、大学、産学支援機関、金融機関との人的ネットワークができました。この一番大切な財産を活用し、最後のご奉公になるかもしれない「開かれた・スピード感ある・頼られるプロ人材戦略拠点」を行動目標に岡山県産業の活性化、地方創生に微力ながら貢献したいと思っております。

マネージャー紹介シート

お名前	黒沢 幸治 (くろさわ こうじ)		
担当拠点	広島県		
専門領域・強みなど	<ul style="list-style-type: none"> ・ビジネス・人事労務の法律知識、並びに、事案を客観的・合理的に分析すること ・1951年12月30日 山口県宇部市 生まれ ・1974年九州大学法学部を卒業後、東洋工業株式会社(現 マツダ(株))に入社。法務部門に長く在籍。 ・1989-92年 米国駐在 ・2000年 海外販売本部長 ・2004年 常勤監査役 ・2007年 執行役員 総務・法務・病院担当 ・2008年 常務執行役員 人事・監査・総務・法務・病院担当 ・2013年 取締役専務執行役員 法人営業・人事・総務・法務統括、監査・病院担当 ・2015年6月 退任 		
趣味・特技など	略歴		
好きな言葉	<ul style="list-style-type: none"> サッカー・野球観戦 Fair & Reasonable 頭はクールに心はホットに 歩歩是道場 		

マネージャー就任の経緯

就任打診を受けた際は、このような大役が自分に務まるか?と不安に思い、躊躇しました(今でも不安)。しかし、1) 本「拠点」事業は、地方創生の一環として、時代が要請する社会的に重要な事業と思われ、2) 41年間マツダに勤務しましたが、この間自治体・地域社会から様々な支援を受けました。この仕事を通じて、些かでも地域に恩返ししたいと考え、お引受することとしました。

本事業に対する抱負

広島県では、古くからチャレンジャー精神・フロンティア精神にあふれた県民性の下、ものづくりに中心に優れた産業界が形成されています。また、都市と自然の近接ライフを日常的に楽しむこともでき、首都圏その他、他県で活躍されているプロフェッショナル人材にとっても魅力的な就業・生活環境を提供可能と思えます。関係機関との連携の下、地道に活動して、Win-Winのマッチング事例を一件でも多く積み上げられるよう、微力ながら最善を尽くしたいと思っております。

マネージャー紹介シート

お名前	森 敏明 (もり としあき)			
担当拠点	山口県			
専門領域・強みなど	中小企業のサポート全般	昭和26年生まれ 昭和50年 山口県庁入庁 平成8年 企画振興部企画課 主幹 平成11年 健康福祉部厚政課 企画監 平成13年 商工労働部経営金融課長 平成15年 商工労働部商政課長 平成17年 商工労働部審議官 兼企業立地推進室長 平成20年 商工労働部次長 平成22年 商工労働部部長 平成24年～現在 (公益)やまぐち産業振興財団 副理事長 (一社)山口県ニューメディア推進財団 理事長 (一社)山口県発明協会 会長(H26.6～)		
趣味・特技など	大型バイクでのツーリング、スキー、近郷の登山	略歴		
好きな言葉	人生は自分の思いどおりに生きることができないかもしれないが、自分らしく生きることが出来る			

マネージャー就任の経緯

- ▶ 略歴にもあるように、県庁生活を商工労働行政に携わってきたことにより、山口県の工業の強みや県内中小企業の特長などを十分に把握している点を評価され、現在も『やまぐち産業振興財団』の事業運営を任せて戴いております。
- ▶ 企業は、事業活動の中で『5つの経営資源の確保』に日々取り組んでおり、これまでの支援に取り組んできましたが、『人材戦略拠点』の開設により、当財団の支援体制がフルスベックになること、それにより中小企業への総合的な支援が強化されることから、お引き受けすることにしました。

本事業に対する抱負

- ▶ 県内中小企業の『5つの経営資源(ひと、もの、技術、金、情報)』の確保、特に、今回初めての視点である『プロフェッショナル人材』に対する県内中小企業のニーズには、100%応えていきたいと思っております。
- ▶ そのため、関係支援機関との密接な連携体制の下に人材戦略拠点の機能を強化することはもとより、これまで大企業に比べて不利な状況が続いてきた中小企業の求人活動についても可能な限り尽力したいと考えております。

23

マネージャー紹介シート

お名前	山本 誠 (やまもと まこと)		
担当拠点	徳島県		
専門領域・強みなど	法人営業 企業法務 企業再生等	1974年 住友信託銀行株式会社入社 主として法人営業部門・企業調査部門・審査部門を担当し、その後審査第二部長、本店支配人等を歴任、取引先や関係会社の企業再生・経営指導等を行う。 2007年 株式会社千趣会に入社し、法務審査部長兼監査部長として、企業法務やコンプライアンス業務を担当 2009年 執行役員法務本部長 2011年 常勤監査役 2015年3月より 非常勤顧問	
趣味・特技など	第九を歌うこと 水彩画 自転車(休止中)	略歴	
好きな言葉	日々は好日		

マネージャー就任の経緯

- ▶ 徳島県鳴門市生まれであるが、大学入学を期に故郷を離れた。その後東京・千葉・大阪・兵庫等で過ごしたものの、やはり故郷である徳島に最も愛着を感じていた。数年前あるきっかけで徳島県大阪本部の方々と親しくなり、交流を重ねていたところ、今般この人材戦略マネージャーの話があった。
- ▶ 以前より、故郷に何らかの貢献ができればと考えていたため、この仕事を通じて私の経験が役に立てばと思います、本件申し込んだもの。

本事業に対する抱負

- ▶ 徳島県も他府県同様、将来人口の減少が懸念されているが、『VS東京』の概要や飯泉知事の講演記録等を拝見すると、2060年の県人口60万人～65万人を確保するため、多大な情熱をもって数々の施策を実行しようとしている。
- ▶ 私も、微力ながら、プロフェッショナル人材事業を通じて、「VS東京としま回帰」に尽くしたいと考えている次第。

24

マネージャー紹介シート

お名前	梅澤 秀樹 (うめさわ ひでき)		
担当拠点	香川県		
専門領域・強みなど	都市銀行、地域金融機関を通じて35年の勤務経験があり、金融部門に強い中小企業診断士である。専門は、経営計画策定、資金繰り、補助金、創業、事業再生などである。		
趣味・特技など	趣味は観葉植物、熱帯魚集め。 特技は剣道4段。		
好きな言葉	初心忘るべからず。 仲良きことは美しき哉。		
略歴	昭和28年12月31日生まれ 昭和51年3月 香川大学卒業 昭和51年4月 株式会社三井銀行入行 昭和63年12月株式会社三井銀行退社 平成2年1月 高松信用金庫入庫 平成20年6月 理事・内部統制管理本部長就任 総合企画、リスク管理部門を主体に経験を積む 平成23年6月 高松信用金庫退社 同年 梅澤中小企業診断士事務所を設立 ・香川県よろず支援拠点サブコーディネーター ・香川県中小企業団体中央会ものづくり支援アドバイザー ・中小企業基盤整備機構四国本部経営支援アドバイザー ・香川県商工会連合会エキスパスパートナー		

マネージャー就任の経緯

我が国の中小企業は、産業の基盤であり、活力の源泉と言える。しかしながら、中小企業者数の推移は、企業単位でも事業所単位でも、1980年代末から開業率を廃業率が上回って推移していることから、減少となっている。中小企業の活性化には財務的な課題解決と、人材を含めた体制面での課題解決が重要である。このため、中小企業のニーズに沿った有能な外部人材を斡旋する必要がある。これまでの相談業務でのノウハウを活かして地域活性化に少しでも貢献したいと応募いたしました。

本事業に対する抱負

中小企業者の多くが右腕になる企画力を持った人材が欲しいという要望を持っており、また、後継者についても後継者を補佐する人材が欲しいという要望が多い。また、研究開発型の企業においては研究者が欲しいというニーズがある。一方、都市部においては、能力があり、やる気のある人材がいるものの、地方における就業先が見つからず希望がかなえられない状況にあるものと考えられる。このような状況に対して、金融機関勤務やこれまでの経営アドバイザーで培った人脈を活かして本事業に積極的に取り組んで参ります。

マネージャー紹介シート

お名前	加藤 有作 (かとう ゆうさく)		
担当拠点	愛媛県		
専門領域・強みなど	伊予銀行時代は、主に融資渉外業務に取り組んできました。その過程で培った交渉力やリレーション能力には、自分なりに自信を持っています。		
趣味・特技など	ゴルフ (まだまだ未熟ですが) ドライブ 水映画 (へたそですが時々描きます)		
好きな言葉	任運騰騰		
略歴	・1957年生まれ ・1981年 株式会社伊予銀行 入行 1992年 新宿支店長代理 1992年 本店営業部長代理 2001年 砥部支店長 2003年 松前支店長 2006年 大阪北支店長 2009年 西条支店長 ・2013年 いばぎんリース株式会社 専務取締役 ・2015年 いばぎんリース株式会社 退職		

マネージャー就任の経緯

伊予銀行時代は営業店ばかりを歴任し、ずっと現場の第一線でやってきました。主には法人を相手に融資渉外業務を中心に取り組んでまいりましたが、今後は、自らの持つスキルを別の方面でフル活用したいと考えていたところに、このプロフェッショナル人材事業の話をお伺いし、応募させて頂きました。

本事業に対する抱負

プロフェッショナル人材戦略事業を通じてかかわった企業が「もっと儲かる企業」へと更なる発展を遂げていくことができるよう精一杯の支援を行っていきます。
プロフェッショナル人材戦略事業を通じてより多くの人たちに「活躍の場」をクリエイし、移り住んでいただいた方々に、やりがいと生きがいを持って暮らして頂いてもらえるよう、全力で取り組んでいきます。
いち早くプロフェッショナル人材戦略事業を軌道に乗せ、「活力あふれる愛媛」の創生の一翼を担っていただけるよう邁進してまいります。

マネージャー紹介シート

お名前	宇野 勝之 (うの かつゆき)		
担当拠点	高知県		
 専門領域・強みなど	事業企画、商品企画、 モノゴトを斜めから 見つめ直す。	<p>・1957年生まれ</p> <p>・1982年 同志社大学工学部卒業後、バイオニア株式会社に入社。 入社後 約10年は、エンジニアとして生産技術・開発・設計に携わる。 その後 米国駐在を含め20余年、事業企画部門にて企画立案～市場導入推進に従事。</p> <p>・2015年 早期退職後、モノを通じた貢献や達成感から、ヒトを通じた社会/地域貢献の途を模索。</p>	
趣味・特技など	ハイキング 温泉めぐり	略 歴	
好きな言葉	切磋琢磨		

マネージャー就任の経緯

- ▶ 大学卒業までは、大阪の狼狽な活気の中で育ち、就職後も埼玉・東京・神奈川域内の事業所が主な勤務地でしたが、途中 2 年弱ではありますが東北エリアの企業に向。
- ▶ その中で、自然環境や社会インフラ等に起因する格差以外に、“現状容認”など人の意識にも地方企業活性化の大きなヒントが隠されていたの思いを度々もちました。
- ▶ その中で事業承継・人材確保を柱に据えた、プロフェッショナル人材事業の話を得、応募させていただきました。

本事業に対する抱負

- ▶ 人材の県外流出や、企業の休廃業が進む高知県。すでに対策を講じられてきている顕在化された事業主様の要望に応えるアクションにとどめるだけでなく、将来に向けた“想像力”をもって視野を広げてもらえるようなアプローチをし、粘り強く一緒に深掘りすることで、事業主様自身が気づいていなかった求人ニーズを掘り起こし、全国のプロフェッショナル求職者の要望にも近づけるよう汗をかきたいと思えます。

プロフェッショナル人材戦略シンポジウムの模様

～ これからの地方創生を考える

「攻めの経営」への転身とプロフェッショナル人材による新たな価値の創造 ～

<日 時> 平成27年11月20日(金) 13:30～16:45

<場 所> TOKYO FMホール(千代田区麹町)

<参加者数> **218名**

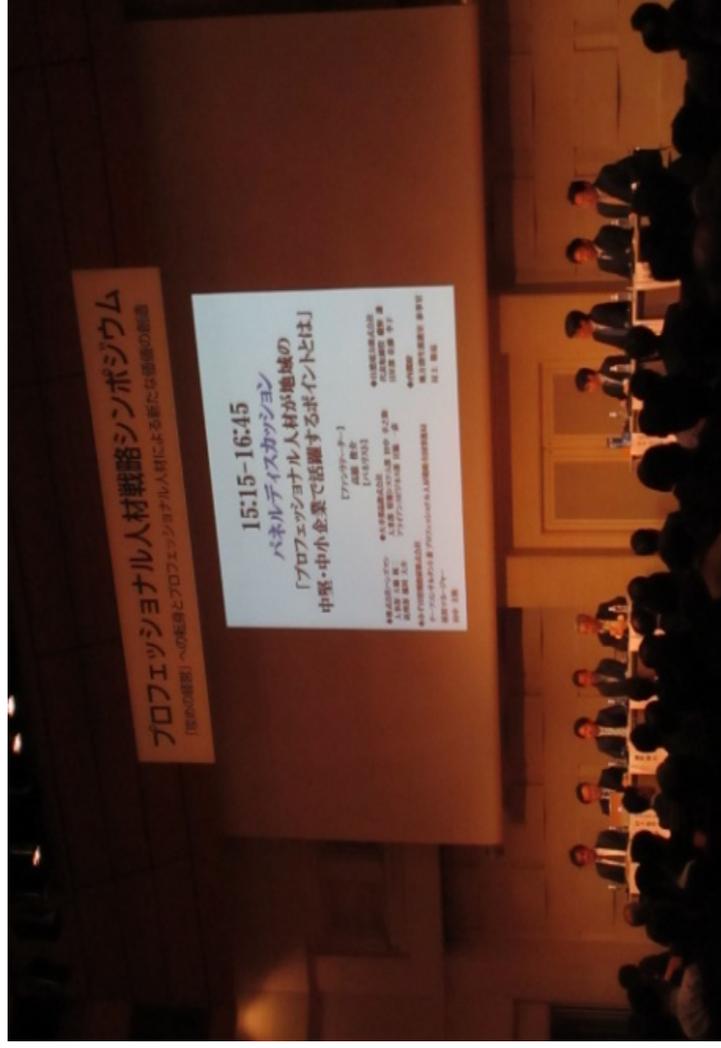
- 人材ビジネス事業者 : 76名(34.9%)
- 人材の送出しを検討する大手企業 : 63名(28.9%)
- 地域企業でのキャリア展開に興味を持つ者 : 30名(13.8%)
- 地域の中堅・中小企業 : 13名(6.0%)
- その他 : 36名(16.5%)

<プログラム>

- 事業説明【内閣府】
 - 基調講演【慶應義塾大学院 高橋教授】
 - パネルディスカッション
- テーマ
「プロフェッショナル人材が地域の
中堅・中小企業で活躍するポイントとは」

➢ パネリスト

(株)ハンズマン
大幸薬品(株)
自然電力(株)



プロフェッショナル人材戦略全国協議会の模様

<日 時> 平成27年12月9日(水) 15:30～17:00
<場 所> 中央合同庁舎第8号館1F講堂

- 拠点の人材戦略マネージャー(22道府県)
- 関係団体
 - ・ 日本人材機構 ・ 日本人材紹介事業協
 - ・ 日本商工会議所 ・ 全国商工会連合会
 - ・ 金融機関各協会 ・ ふるさと回帰支援センター
 - ・ 関係省庁(内閣府、金融庁、厚労省、経産省、中企庁)

～全国協議会の趣旨～

- 30以上の拠点が立ち上がり、これより事業の本格的取組がスタート
- 本事業を推進するには、拠点が関係機関と密に連携することが必要不可欠
- そのため、全国レベルで関係者を一堂に会し、機運醸成・連携強化等を図っていく

<プログラム>

- 開会挨拶【伊藤大臣補佐官】
- 協議会について【内閣府】
- 今後の活動予定【全国事務局】
- 人材戦略マネージャー挨拶【4拠点】
 - 石川県拠点 : 村 弘行氏
 - 和歌山県拠点 : 植田 俊氏
 - 長野県拠点 : 三浦 義正氏
 - 広島県拠点 : 黒沢 幸治氏
- 関係機関よりコメント

